

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【本邦研修】

担当講師	稲川 文夫氏 (SESPP事務局技術顧問)
実施期間	2024年11月20日(水)～11月28日(木)
実施場所	幕張国際研修センター
研修	技能評価システム普及セミナー (SED)

2024年12月

結果概要

1. 事業の概要

日本の先進事例や実際の競技大会の運営を視察することで、技能競技大会の運営方法等を学ぶものとし、帰国後、自国での技能評価システムの構築又は充実を図ってもらうことを目的としている。

2. **対象者数**：受講者数 マレーシア 2 名、タイ 1 名、フィリピン 2 名、カンボジア 2 名、ラオス 1 名
修了者数 マレーシア 2 名、タイ 1 名、フィリピン 2 名、カンボジア 2 名、ラオス 1 名

3. 実施内容

対象国の政府関係者を日本に招聘し、専門家による講義に加え、技能五輪全国大会の見学や職業訓練施設の視察、日本の技能検定・技能競技大会を実施運営する組織へ訪問等を行う。

4. 日程

日時	指導内容
11月20日(水) 9:30~16:30	①オリエンテーション ②開講式、写真撮影 ③事業内容と研修の目的、アクションプラン作成方法について ④歓迎レセプション ⑤【講義】公共職業訓練の概要（厚生労働省 内野 智裕氏）
11月21日(木) 9:00~17:00	【講義】 ①技能検定と技能競技大会の概要と役割（SESPP 事務局技術顧問 稲川 文夫氏） ②カンントリーペーパー発表（30分 x 5か国）、質疑応答
11月22日(金)	【視察】 午前：技能五輪全国大会視察のため、名古屋へ移動 午後：トヨタ産業技術記念館
11月23日(土)	【視察】 終日：技能五輪全国大会（愛知県国際展示場）
11月24日(日)	【視察】 午前：技能五輪全国大会（愛知県国際展示場） 午後：幕張へ移動
11月25日(月)	【資料整理】
11月26日(火) 9:30~16:00	【職業訓練施設視察】 午前：ポリテクセンター千葉 午後：ポリテクカレッジ千葉
11月27日(水) 10:30~16:00	【講義】 ①技能競技大会の運営（JAVADA：中央職業能力開発協会） ②競技大会実施に向けたアクションプラン作成

11月28日(木) 9:00~15:00	【アクションプランの作成及び発表】 ①競技大会実施に向けたアクションプラン作成 ②アクションプラン発表(30分 x 2グループ)、質疑応答 ③総括・閉講式 夜：帰国の途へ
-------------------------	---

5. 講評

<稲川講師>

1. 今回の研修受講者は、自国で技能競技大会、あるいは技能検定を担当している者であり、仕組みや運営方法等について具体的に情報交換することができた。また、受講者から10日間の研修を通して、日本では技能競技大会や技能検定が技能労働者の技能習得意欲の向上によく機能していることが理解できたとのコメントがあった。研修最終日に、受講者がコメントした次の言葉に、当該研修が有意義であったことが凝縮されているように思う。「日本では、技能者のレベル別に技能競技大会が開催されているのに感銘を受けた。自国でも技能者のレベル別に技能競技大会を開催して、すべての技能者が技能を競える機会を提供できるようにしたい。」

今回の研修を通して学んだことや経験を生かして、自国での技能評価制度の発展に貢献してほしいと期待するところである。

2. 各国のカントリーペーパーの発表を通して、それぞれの国の技能評価制度の枠組みや機能等を具体的に把握することができた。また、ヒアリングを通してASEAN諸国におけるMRS(Mutual Recognition of Skill:技能の相互認証)の現状を明らかにして共有できたことは、望外の成果であった。

具体的には、タイとカンボジア、ミャンマー、ラオス、フィリピンの間でのMRSに関する職種とレベル及びマレーシアとインドネシアの間でのMRSに関する職種とレベルを把握することができた。

3. 受講者のすべての国では、国内技能競技大会を実施してWorldSkills ASEANに参加している。そして、複数の国は、WorldSkills ASIA、WorldSkills Competitionに参加している。そのため、作成されたアクションプランは、具体的なものであった。加えて、工程表に記載された実施項目は、各国で実施している作業項目の中から良いもの取捨選択して取り入れて構成されており、効果・効率の面で改善が見込まれるものになっていた。帰国後、各国で当該研修で作成したアクションプランを適用して国内技能競技大会の実施・運営面で改善結果がでることを期待したい。

6. アンケート結果

<SED>

◆受講者8名(回答者8名)(※5段階評価)

満足度	: 5: 大変満足=8人	4: 満足=0人
研修内容とテーマの整合性	: 5: とてもそう思う=8人	4: そう思う=0人
継続度	: 5: 是非とも継続すべき=8人	4: 継続すべき=0人

【この研修で最も有意義なプログラムは何だったか】

- ・技能五輪全国大会
- ・時間と規律

- ・技能競技大会と技能検定の実施システム
- ・参加者と開催国との実習の共有と愛知県での全国技能競技大会の視察
- ・技能競技の技能評価、技能検定、技能研修の実施
- ・実践的な学習、開催国および参加者間での経験の共有
- ・技能検定及び技能競技大会の開発及び準備（2）

【現在の仕事にどのように活用したいか】

- ・今回学んだことを母国で実践する。
- ・日本の技能競技大会のやり方、特に着物の着付けを参考にしたい。
- ・このセミナーで学んだことを参考に、自分たちのシステムを改善する。
- ・技能競技大会の一環として、得た知識や経験を盛り込んだ企画書を提出する。
- ・技能検定と技能競技
- ・特に全国技能競技大会について、SDI は実業務に即した実践的な実施計画が必要である。
- ・日本や他国の TVET から学んだことを自国の発展に貢献と共有を図る。また、技能検定や技能競技の担当者が実施計画を実行することを促す。
- ・このコースに関する知識や経験をお互いに共有する。

【技能競技大会セミナーについて、何をもっと学びたかったか】

- ・次回のセミナーで、IT スキル分野について
- ・日本文化
- ・技能競技のテストパッケージ開発と競技運営について
- ・実際の技能検定を見たい。
- ・技能検定や技能競技の問題点をどう解決するか。
- ・採点方法は技能検定・技能競技の結果を左右する最重要事項である。
- ・技能検定の開発と、より興味深い技能競技の準備
- ・日本での技能競技大会について、もっと勉強したい。特に、方法論、戦略、アクションプラン。

【改善するための提案】

- ・研修日程で、日本の産業を訪問する。
- ・もう何日か長い日程にしてほしい。
- ・1 つ、2 つスキルを例にして、実際に実施されているトレーニング方法を含める。
- ・すべてが完璧で、特でない。
- ・特に改善提案がなく、すべてのプログラムに賛同する。
- ・実習や現場視察を増やしてほしい。
- ・技能競技大会を日本で実施するための流れ。

【意見・提案・感想】

- ・全体的に良いと思う。また次のセミナーに参加したい。
- ・とても寒い国。
- ・とても素晴らしく、有益なプログラムにフィリピンを招聘していただき、感謝する。
- ・日本の技能検定や技能競技大会について学び、体験する機会を与えていただき、感謝する。
- ・このセミナーを毎年開催してほしい。また、他の国も招待して共に学び、共有したい。厚生労働省の皆様に感謝する。
- ・食費をもっと増やすべきである。(2)
- ・全国技能競技大会の入賞者を輩出している企業を訪問し、合格に必要なことのヒアリングを行う。

以上